

第58回 福島県中学校体育大会要項

1 開催の趣旨

中学校教育の一環として県内の中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全で明朗な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図る。

2 開催の基本方針

- (1) 福島県中学校体育大会の開催基準及び大会開催の趣旨に基づき、中学校生徒にふさわしい大会にする。
- (2) 東北中学校体育大会及び全国中学校体育大会福島県予選会にする。
- (3) 福島県教育委員会、開催市町村教育委員会、各種競技団体の指導・協力を得ながら大会の運営に万全を期す。

3 主 催

福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 福島県中学校長会 (公財)福島県体育協会
福島市教育委員会 郡山市教育委員会 須賀川市教育委員会 小野町教育委員会
鏡石町教育委員会 白河市教育委員会 石川町教育委員会 西郷村教育委員会
会津若松市教育委員会 金山町教育委員会 相馬市教育委員会 いわき市教育委員会
福島陸上競技協会 (一社)福島県水泳連盟 福島県野球連盟 福島県ソフトボール協会
福島県バスケットボール協会 福島県バレーボール協会 福島県ソフトテニス連盟
福島県卓球協会 福島県バドミントン協会 (一財)福島県サッカー協会
福島県ハンドボール協会 福島県柔道連盟 福島県剣道連盟 福島県相撲連盟
福島県体操協会 福島県スキー連盟 福島県スケート連盟

4 後 援

福島市 郡山市 須賀川市 小野町 鏡石町 白河市 石川町 西郷村 会津若松市
金山町 相馬市 いわき市

5 主 管

県北地区中学校体育連盟	県中地区中学校体育連盟	県南地区中学校体育連盟
会津地区中学校体育連盟	相双地区中学校体育連盟	いわき地区中学校体育連盟

6 第58回福島県中学校体育大会及び開催期日及び会場 ※ 施設状況により変更の可能性あり

◎ 陸上競技

競技種目	競技会場	期日	開催地
陸上競技	開成山陸上競技場	7月7日(火)～9日(木)	郡山市

◎ 総合競技 平成27年7月22日～24日(水～金) [22日開始式・監督会議・一部競技]

競技種目	競技会場	競技日			開催地	
		22日(水)	23日(木)	24日(金)		
水泳	競泳	会津水泳場	○	○	○	会津若松市
	飛込み	郡山カルチャーパークプール	7月8日(水)			郡山市
軟式野球	開成山野球場	○	○	○	郡山市 須賀川市 小野町	
	牡丹台野球場	○	○	○		
	いわせグリーン球場	○	○	○		
	小野公園野球場	○	○	○		
ソフトボール	相馬光陽ソフトボール場		○	○	相馬市	
バスケットボール	あいづ総合体育館		○	○	会津若松市	
バレーボール	郡山総合体育館 安積総合学習センター体育館 郡山西部体育館		○ ○ ○	○	郡山市	
ソフトテニス	いわき市平テニスコート		○	○	いわき市	
卓球	白河市中心体育館		○	○	白河市	
バドミントン	いわき市立総合体育館		○	○	いわき市	
サッカー	鳥見山陸上競技場 郡山西部サッカー場	○ ○	○	○	鏡石町 郡山市	
ハンドボール	石川町総合体育館 学法石川高等学校体育館	○ ○	○ ○	○	石川町	
柔道	鶴ヶ城体育館		○	○	会津若松市	
剣道	県営あづま総合体育館		○	○	福島市	
相撲	福島市相撲場		○	○	福島市	
新体操	福島市国体記念体育館	○体操競技 会場にて実施	○	○	福島市	
体操競技	福島市国体記念体育館		○	○	福島市	

※○印は競技日

◎ 駅伝競走・スケート・スキー競技

競技種目	競技会場	期日	開催地
駅伝競走	西郷村台上周辺コース	10月8日(木)・9日(金)	西郷村
スケート	磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場	12月11日(金)(高校と同日開催)	郡山市
スキー	金山町フェアリーランドかねやまスキー場 金山町太郎高原クロスカントリーコース	1月12日(火)～14日(木)	金山町

7 競技方法

競技方法は、原則として学校対抗とする。

8 参加資格

- (1) 参加者は、福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し、当該競技要項により参加資格を得たものとする。
- (2) 同一年度内の参加は、全種目を通じて1人1種目とする。但し、スキー、スケート及び駅伝競走については、他の種目と兼ねることができる。
- (3) 参加生徒の引率・監督は、当該出場校の校長・教員（非常勤を除く）とする。
- (4) 外部コーチのベンチ入りについては、専門部が競技要項の中に外部コーチ導入を位置づけた競技にて、校長が認めた者とする。ただし、当該校以外の中学校教職員・校長の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
- (5) 過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達した年度まで出場できるものとする。また、学年指定種目については該当年齢とする。
- (6) 参加資格の特例
 - ① 学校教育法第134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、各支部・地区中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ② 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ア 県大会の参加を認める条件
 - (ア) 県中体連の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学生と一致している単独の学校で構成されていること。
 - (ウ) 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教師の指導のもとに、適切に行われていること。
 - イ 県大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 県大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 県大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
- (7) 複数校合同チームの参加について
 - ① 基本
参加を承認する精神はあくまでも少人数の運動部による単独でチーム編成ができないことの救済措置であり、勝利至上主義のためのチーム編成であってはならない。
 - ② 構成の条件
 - ア 合同チーム編成の範囲は、同一支部中体連加盟校で編成する。
 - イ 学校の連携による合同部活動を当該校の校長が認めていること。
 - ウ 当該校が、部員不足により単独でチーム編成が困難であり大会参加ができない場合。
 - (ア) 当該校に部が設置され、顧問が存在すること。
 - (イ) 当該校は顧問もしくは外部指導者の指導の下、学校管理下で計画的に合同での練習を行っていること。
 - エ チーム名は、校名を連記すること。
 - ③ 参加種目
個人種目のない以下の競技種目（7種目）に限る。
バスケットボール（5）、サッカー（11）、バレーボール（6）
ハンドボール（7）、軟式野球（9）、ソフトボール（9）
アイスホッケー（11）
但し、それぞれの学校が（ ）内の人数を下回った場合のみ、合同チームを編成できる。
 - ④ 承認手続き
 - ア 合同チームが支部予選大会に出場する時点で、各支部中体連事務局に当該校の部員名簿を提出する。
 - イ 各支部大会に合同チームが参加する場合は、各支部中体連事務局において条件に適合するかを判断し、認めた場合は地区中体連事務局宛に合同チーム出場を承認した旨を報告すること。
 - ウ 各地区大会に合同チームが参加する場合は、各地区中体連事務局から県中体連事務局宛に合同チーム出場を承認した旨を報告すること。
 - ⑤ 留意事項
 - ア 合同チーム編成条件
 - (ア) 部員不足とは、福島県中学校体育大会開催基準8（7）③参加種目による。
 - (イ) 部活動加入決定後、いずれかの学校の加入生徒数が増えた場合でも、当該年度内の出場を認める。
 - (ウ) 部活動加入決定後、加入生徒数が減少し、必要人数に満たず、他校も合同チーム

を編成する条件にあった場合は、支部中体連判断で出場を認める場合がある。

イ 上位大会への参加

東北大会、全国大会への出場に関しては、それぞれの大会出場基準による。

ウ 表彰

申し込まれた校名での表彰を行う。

エ 大会参加申込手続き

(ア) 該当校の校長が承認の上、代表校長が行う。

(イ) 申込用紙の形式について

○該当校長全ての職印を必ず押印するよう作成する。

○各学校名・校長名・選手の所属学校名等も記載できるよう各専門部で作成する。

オ 引率・監督について

引率は、各校の校長・教員とし、監督は、代表校の校長・教員とする。

カ その他

(ア) 大会参加に際しては、各競技規則及び申し合わせ事項に従うこと。

(イ) その他必要な事項については、理事会で検討し、評議員会で決定する。

⑥ 合同チームの編成例（軟式野球の場合）

※ 合同チームを編成する場合は、事前に所属支部中体連に相談・報告すること。

※ 合同チーム編成はあくまでも救済措置であることから、各校の自助努力後、単独で参加できない場合とする。

種類	校名 人数	校名 人数	校名 人数	合計人数	編成可能○ 編成不可能×
例1	A中学校 8名	B中学校 8名		16	○
例2	A中学校 9名	B中学校 8名		17	×
例3	A中学校 8名	B中学校 8名	C中学校 8名	24	○
例4	A中学校 9名	B中学校 8名	C中学校 8名	25	×
例5	4校以上の場合、2/4校以上で規定人数を満たす場合は、2チーム以上に分ける。(例) A校8名・B校8名・C校8名・D校1名→2チーム				

9 参加申し込み及び組み合わせ抽選

(1) 参加申込書については、県中体連ホームページに掲載する申込用紙をダウンロード (<http://www.f-ctr.com>) して作成するものとする。

(2) 申し込みは、すべて学校長より各地区該当競技の専門部委員長を経る行う。

(ホームページ：各地区申込先参照)

(3) 申込期日・抽選会は次の通りとする。

競技	申込締切日	抽選会期日	抽選会場
陸上	6月26日(金)	6月29日(月) 10:00～	県 中地区
総合	6月26日(金)	6月29日(月) 10:00～	県 北地区 (剣道・相撲・新体操・体操競技) 県 中地区 (軟式野球・バレーボール・サッカー) 県 南地区 (卓球・ハンドボール) 会 津地区 (水泳・バスケットボール・柔道) いわき地区 (ソフトテニス・バドミントン) 相 双地区 (ソフトボール)
駅伝	9月10日(木)		県 南地区
スケート	11月13日(金)	11月13日(金)	県 中地区
スキー	1月5日(火)	1月5日(火)	会 津地区

(4) 福島県中学校体育連盟では申込書に記載する学校名・氏名・学年等の情報を本大会プログラムへ掲載し公表するとともに、大会結果一覧表の作成に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。そこで、一次予選会(支部大会)の申込時に各校で上記の内容について口頭で確認し、同意が得られない場合や、事情がある場合は各支部中体連事務局を通して地区及び県中体連事務局に報告する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。

(5) 抽選方法は、次の通りとする。(剣道団体組合せは別表に示す。)

① 総合競技

○基本

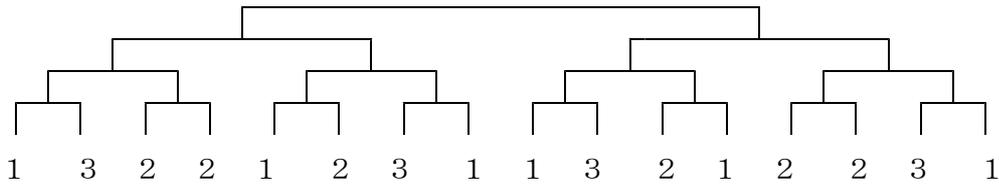
- 1 各地区の1・2位を分ける。
- 2 1位同士は、一回戦で組まない。
- 3 同地区は、同ブロックに入れない。(2回まであたらない)
※個人48名の場合は3回戦まであたらない。

○方法

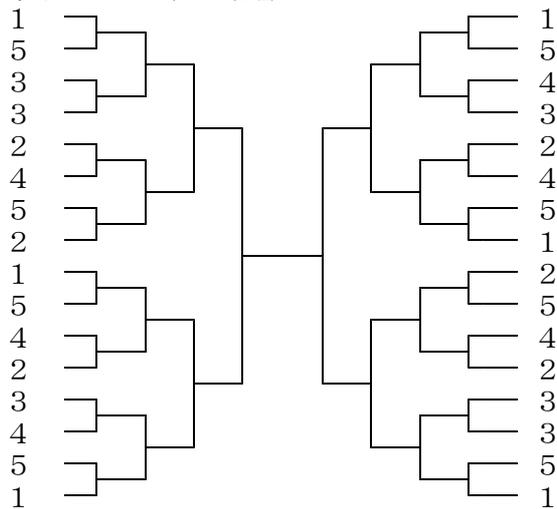
- 1 最初に競技開催地区1位チームを抽選する。
- 2 他地区1位チームを抽選する。
- 3 地区3位チームを抽選する。(専門部推薦も同様にあつかう)
- 4 抽選に必要な2位チームを抽選する。
- 5 個人戦についてもこの基本を準用する。
- 6 予選リーグ・決勝トーナメントをする競技は次のようにする。
各ブロックより2チームを再抽選する。
ただし、1位同士、予選ブロック1・2位は1回戦ではあてない。

《組合せの基本型》

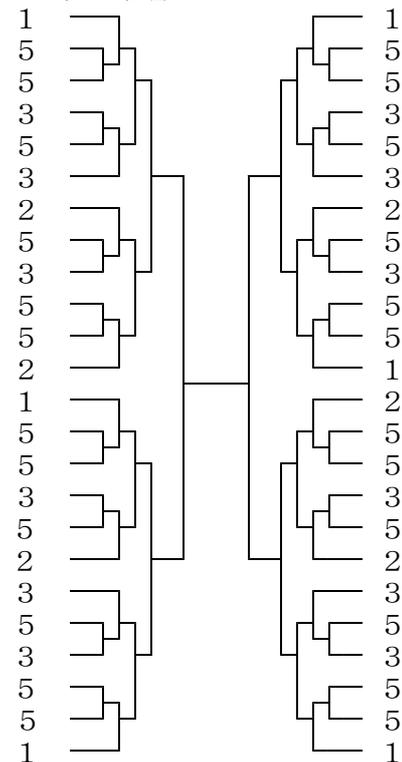
団体 16チームの場合



個人 32名の場合



48名の場合



② 陸上競技

○トラック競技

タイムにより偏らないようにする。

○フィールド競技

記録順に配列する。同記録の場合は抽選する。

③ 水泳競技

水泳連盟のルールによる。

④ スキー

- 1 前年度入賞者は、特別シードにする。
- 2 全日本スキー連盟規則による。

⑤ スケート

スケート連盟のルールによる。

- 10 参加料
 - (1) 参加料は、全競技選手1名につき1,000円とする。
 - (2) 参加の人数は、登録人数とする。記録員、マネージャーが生徒の場合は参加料を納入する。ただし、ソフトテニス個人の控え選手は含まない。
 - (3) 参加料は、各地区専門部委員長がまとめて申込用紙と一緒に抽選会時に各競技事務局へ納入する。各競技事務局は、県中体連事務局指定の口座へ振り込む。
- 11 参加記念章
 - (1) 参加記念章は、有料とする。
 - (2) 参加記念章代は各地区専門部委員長がまとめて、申込用紙と一緒に抽選会時に各競技事務局へ納入する。各競技事務局は、県中体連事務局指定の口座へ振り込む。
 - (3) 参加記念章は、監督会議の時に配布する。
- 12 プログラム
 - (1) プログラムは有料で配布する。
 - (2) プログラムの申し込みは、参加料、参加記念章代と同時に行う。
 - (3) プログラムは、監督会議の時に配布する。
- 13 表彰
 - (1) 入賞者、入賞校には福島県中学校体育連盟会長の名入りの表彰状を授与する。
 - (2) 優勝校には、優勝旗または優勝杯を競技種目男女別に授与する。
優勝旗または優勝杯は、持ち回り制により年間保有とし、返還時にレプリカを授与する。
 - (3) 各競技とも個人、団体第3位までの入賞者に賞状・メダルを授与し、体操・新体操の種目別については、3位まで賞状を授与する。(陸上・水泳・スキーのリレーは決勝に出場した者とする。)
ただし、陸上・水泳・体操(個人総合)・新体操(個人総合)・スケート・スキーの個人は、第8位まで賞状を授与し、駅伝は区間第1位に賞状・メダルを授与する。
- 14 開始式・閉会式
 - (1) 開始式・閉会式には、選手全員が参加することを原則とする。
 - (2) 開始式の服装は、各学校使用の運動着またはユニホームとし、各競技において統一する。
 - (3) 開始式には、各競技の優勝校、優勝者が優勝旗を持参し返還する。
 - (4) 閉会式は、各競技ごとに行う。
 - (5) その他は、各競技事務局・大会事務局よりの細案による。
- 15 宿泊
 - (1) 大会に参加し宿泊を要する出場校は、適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず大会事務局指定の業者に宿泊申込書を提出し申し込むこと。(指定外の宿泊施設の利用は認めません。)
 - (2) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
 - (3) 宿泊料金は、平成27年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。
- 16 大会開催期間
 - (1) すべての大会期間は3日以内(2泊3日)とし、大会1日目は公式練習、監督会、開会行事等にあてる。ただし、運営上やむを得ない場合は、一部競技を行うことができる。
 - (2) 天候等の事情でやむを得なく延期する場合は、2日間を原則とし、以後は、県中体連事務局と大会事務局の決定による。
- 17 東北中学校体育大会及び全国中学校体育大会について
 - (1) 本大会は、平成27年度に開催される東北中学校体育大会並びに全国中学校体育大会の福島県予選会を兼ねて実施する。
 - (2) 東北、全国の出場権を得た選手、学校(チーム)は、各競技専門部より大会要項、参加申込書等の配布を受け、大会要項に従って開催都道府県実行委員会事務局へ申し込みを行うものとする。
- 18 保健救護
大会期間中の負傷・疾病については応急処置のみとし、大会参加者は健康保険証を持参することが望ましい。また、事故発生時等の救急病院は各大会事務局より後日紹介する。
- 19 身分証明
大会に参加する生徒(選手)には、生徒手帳等による身分証明書を持参させるようにする。

福島県中学校体育連盟 ホームページアドレス

<http://www.f-ctr.com>